

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

4

2026 APR.

第 275 号

## 学校長からのメッセージ

この春より、校長に就任いたしました池田博人と申します。前任の鍛治田校長が大切にされてきた一人ひとりの「命の尊厳」を重んじる学校づくりをしっかりと受け継ぎ、皆さんと共に歩み出せることを心から光栄に思っています。

私は、大阪 YMCA の関連校「表現・コミュニケーション学科」での勤務を経て、本校へ参りました。高校生一人ひとりと向き合い続け、今年で 18 年目を迎えます。

大学では社会福祉を学び、社会福祉士の資格も取得しました。これまで児童や障がい者、高齢者など、多様な背景を持つ方々とボランティアや実習を通して深く関わってきました。その豊かな体験は私の世界を大きく広げ、今も教育の現場に向き合う際の土台となっています。

そのような私ですが、実は今でも「自分のことが好きか」と問われると、即答できずに考え込んでしまう弱さを持っています。少年時代は周囲と自分を比べては葛藤し、寂しさや不安をうまく表現できずに荒れていた時期もありました。そんな私を救ってくれたのは、小学校時代の恩師の言葉でした。「ひろとはひろとでいい」。ありのままを肯定された瞬間の安らぎは、今も忘れられません。良き人との出会いや体験は、人生を好転させます。

人気漫画『鬼滅の刃』に登場する、我妻善逸（あがつまぜんいつ）というキャラクターをご存じでしょうか。私が彼に強く惹かれるのは、その姿に「かつての自分」と「変わろうとする勇気」を見出すからです。

彼は自分の弱さを隠さず、ありのままの感情を正直に表現します。不安でいっぱい旅の途中に、主人公の炭治郎へ放った「俺はな、ものすごく弱いんだぜ、なめるなよ」という衝撃的なセリフ。そして、「俺は、俺が一番自分のこと好きじゃない。

変わりたい。ちゃんとした人間になりたい」と泣きながらも、必死に前を向こうとする姿。ダメな自分にうんざりしながらも、一生懸命に生きようとするその飾らない言葉に、私自身も救われた一人なのです。

聖書には、こんな言葉があります。「わたしの恵みはあなたに十分である。力は、弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」。これは、何かができるから価値があるのではなく、ありのままのあなたで十分、という神様からのメッセージです。弱さがあるからこそ、人は誰かとつながり、寄り添うことができます。

本校はキリスト教精神を基盤とし、あなたのかげがえのない命、その存在そのものが貴いと考えています。勇気を出して踏み出した一歩を、私たちは温かい眼差しで受け止め、安心できる居場所、そして自分らしい未来へと繋いでいきます。

ここは、安心してチャレンジできる場所です。素敵な出会いや語り、地域での活動を通じ「自分は必要な存在なんだ」と感じる経験を重ねてほしい。これまでの自分も、これからの自分も、まるごと大切に。私たちは「あなたはあなたでいい」と伝え続け、あなたの可能性を精一杯応援します。

私自身も校長 1 年目、未熟な点は多々ありますが、皆さんと共に悩み、共に学び、素敵な語りができる学校を作っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(校長 池田 博人)

**「わたしの恵みはあなたに十分である。****力は、弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」**

(コリントの信徒への手紙二 12 章 9 節)





# 今月の聖句

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」

(ルカによる福音書 24章5~7節)

皆さんはイースターという日を知っていますか。イースターという日は、イエス様が復活をされた日なのです。なぜ復活をされたのか、そこに至る経緯を今日はお伝えします。

神様は人間がこの地上での命を終えた後、天国に導こうと考えられましたが、人間は誰もが神様に対して罪を犯してしまう存在なので、そのままの姿では天国には行けません。人間が自分で自分の罪を清めるということもできません。そこで神様は、すべての人間の罪を清めるために、御自分が人間の姿で地上に来てくださいました。それがイエス様なのです。地上で何も罪を犯すことなく生きて、すべての人の罪の犠牲として十字架で死んでくださいました。さらに、死んで終わるのではなく、天国で永遠の命を得るために復活をされたのです。そのイエス様の復活によって、地上と天国をつなぐ道ができて、すべての人がその道を通して天国へと行けるようにされたのです。

クリスマスはイエス様がすべての人を救って天国へと導くためにこの地上にお生まれになった日。そしてイースターはイエス様がすべての人が救われるよう天国へと至る道を作るために復活された日なのです。ちなみに、今年は4月5日がイースターです。



## 「今月の聖句」 自己紹介

福島 義也(ふくしま よしや)

河内長野みぎわ教会の牧師で、YMCA 学院高校の非常勤講師をしている福島義也です。小さな虫から大きな動物まで、すべての生き物が好きです。車やバイク、音楽、スポーツも好きです。身近な所に散りばめられている神様の恵みを伝えていきたいと思っています。

